

山正ニュース

株式会社 山 正		
本社・緑化部	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4468
岐阜営業所	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4466
可児営業所	可児市川合塚越345-1	Tel <0574>62-5228
富山営業所	富山県射水市大江207-1	Tel <0766>55-3882
飛騨営業所	高山国府町857-2	Tel <0577>72-4466

2013年4月号 (通巻47号)

§ 1 水稲の除草剤を上手に効かせるために

～圃場の条件に応じた除草剤の選択と、適切な水管理が大切！～

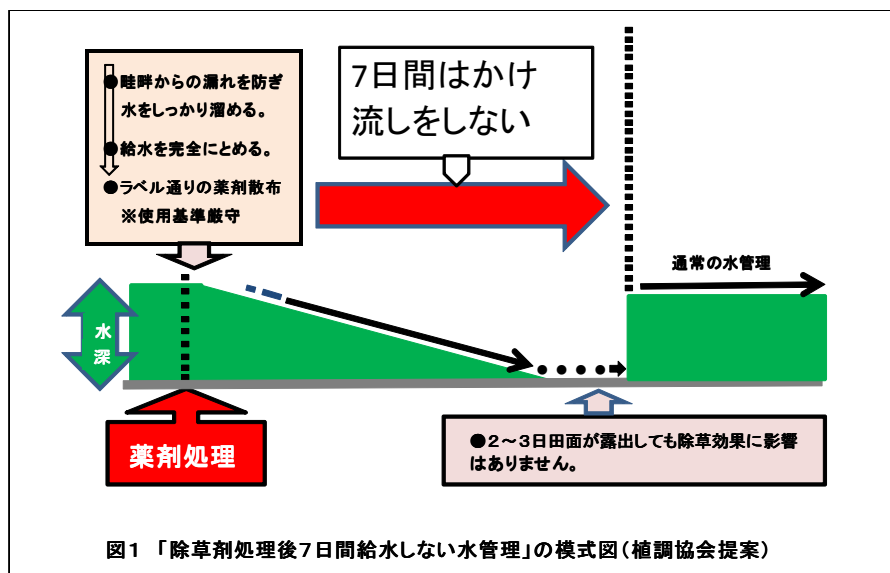
水稲の除草対策は、これまで田植え後ノビエの1葉期頃までの間に初期剤を散布し、ほぼ1ヶ月が経過する頃までに中期剤を処理する体系処理が一般的でしたが、近年は効果の安定した体系は正剤（いわゆる一発剤）が多く使用されるようになってきました。しかし、近年は、一発剤が期待したほどの効果を発揮せず、補完的に後期剤を散布せざるを得ない圃場もかなりみうけられます。除草剤はすでに圃場条件に応じたものを手配済みのことと思いますが、除草剤を上手に効かせるためには適切な水管理がとても大切になります。

◎除草剤処理層を安定的に保つ水管理

多くの除草剤は散布後に水田の表層近くに処理層を形成し、この処理層に土中から発芽してくる雑草が接触することによって効果が発揮されるので、除草剤処理層を安定的に保つことが極めて重要になります。

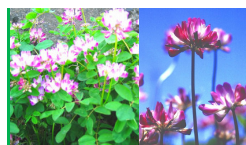
◎処理後7日間はかけ流しをしない

水管理の違いによって、除草効果に大きな違いがあらわれます。漏水等による減水深が大きく、かけ流しをしている圃場では効果が十分に発揮されません。図1は、植物調節剤研究会（植調協会）が提案している「除草剤処理後7日間は給水しない水管理」ですが、除草効果が安定して発揮される方法なので、是非採用されることをお勧めします。なお、この水管理を行うためには畦畔等からの漏水を防ぎ、水をしっかり溜めることが前提になりますので、漏水防止に留意する必要があります。

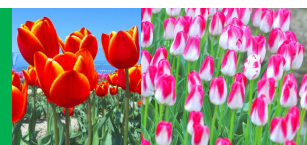


◎早めの散布に心がける

次ページには弊社可児営業所管内で勧めしている体系処理剤、一発剤の使用時期及び中・後期の補完剤の一覧を載せました。また、岐阜、飛騨、富山の各営業所にもこの図に準拠したものがありますので、それらの図を参考に、散布時期が遅れないよう、早めの散布をお勧めします。なお、詳しくは最寄りの営業担当にお問い合わせいただきたいと思っております（名畑技術顧問（次ページの図は大野可児営業所長による））

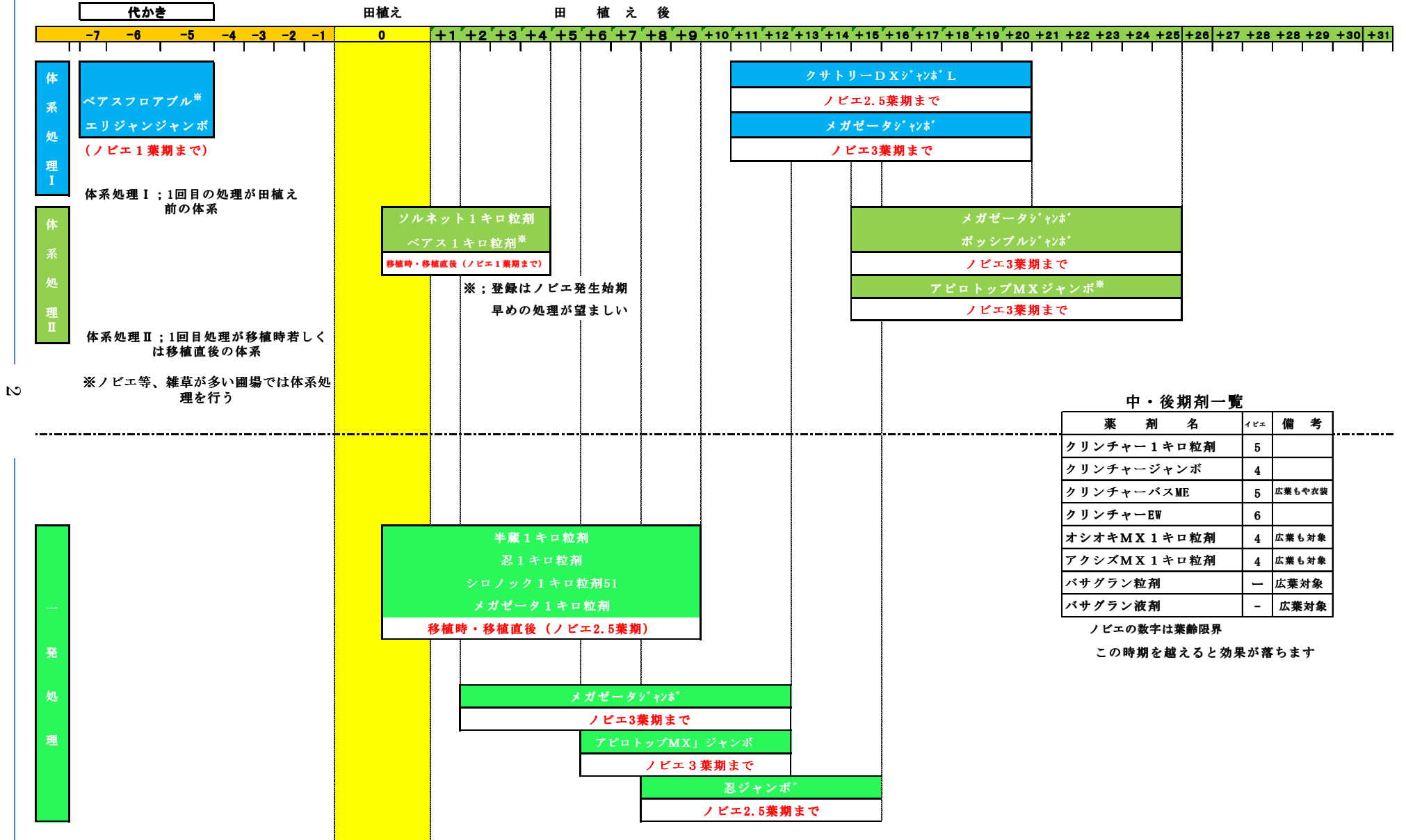


株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



体系処理剤、一発処理剤の使用時期（移植水稻）

(Ver.1 平成25年3月現在)



中・後期剤一覧

薬剤名	イビエ	備考
クリンチャー1キロ粒剤	5	
クリンチャージャンボ	4	
クリンチャーバスME	5	広葉もや衣装
クリンチャーEW	6	
オシオキMX1キロ粒剤	4	広葉も対象
アクシズMX1キロ粒剤	4	広葉も対象
バサグラン粒剤	-	広葉対象
バサグラン液剤	-	広葉対象

ノビエの数字は葉齢限界

この時期を越えると効果が落ちます